

ああ青春 ギョーカイ

# 鈴木隆祐 有名高校



の映画館に通い詰めた。ある日、その回数券を校

東急グループ創業者 五島慶太

# 屋代高&上田高

長野県1学区で長野高 った上で大学進学を果た 次ぐ進学校が、192 した野澤は、東大や一橋 3年創設の千曲市の屋代 〇Bが多い山一証券で、 高校。3年後には附属中 初の私大出身社長に上り

遺作となったが、昨年の 酒井の逮捕で一躍その名 が取りざたされた。 高校時代、映画少年の 原田は時に授業をサボ を渡されたという。 その他、女子柔道で上

野雅恵や中村美里らに指 導してきた出田大名背教 授の柳沢久(62、東京教 育大体育)、読売テレビ アナの五十嵐竜馬(27、 東洋大社)、生徒会で副 会長だったモデルの花音 (25、明学大文)、現在は



# 長野編 ⑤

就任後のこ と。 それでも自

# 代実直なプロを生み中高一貫校に マルチ作家輩出！ 県最古の高校

さて、2学区のトップ まま使われる。東急創業 校は1875年創立と長 者の五島慶太の出身校で 野では最古の上田高校。 もある。

『ふれあい』など作曲家 いずみたくとのコンビ作 で知られる作詞家の山川 啓介(65、早大一文)も舞 台構成を手がけるが、松 久淳との「泣ける」コン ビ作家として、『天国の 本屋』シリーズで知られ る田中渉(42、早大社料) も実は電通マン。マルチ 作家が多いのだ。



大経)がいる。経済事情 一昨年2月、52歳の若

上田藩藩主館跡に建てら れ、校門は表御門がその 永六輔(76)が通い、くし

NHK「お元気ですか 日本列島」などでおなじ みの気室子報士・関嶋梢 (33、津田塾大)は「少女 時代はアイドル歌手にな りたかった」だけあり、 機転の利いたトークに社 交性の豊かさを見せる。

山一証券最後の社長 野澤正平



放送作家 永六輔

# 揃って北信を代表する進学校

漫画家 白土三平



ベテラン声優の篠原恵美 (46)も、国立音大卒とい う美声の持ち主だ。 その他、憲法学の権威 ・小林直樹(88、旧制水 戸高→東大法→同大学 院)、63年に全国最年少 の20歳で司法試験に合格 した前衆院議員の岩崎忠 夫(67、東大法)、NHK ディレクター出身の衆院 議員・加藤学(41、早大 商→ロンドン大大学院 他)と政界や法曹界にも



世を忍ぶネ マイナー

再チ

政経)などは異端児か。 なお、戦後すぐは併設 中学が存在し、そこに通 ったのがやはり東京から 疎開中の漫画家の白土三 平(78)である。

(ジャーナリスト) 敬称略

ああ青春 ギョーカイ

# 有名高校人脈

長野編 ⑥

## 上田染谷高

長野の旧高等女学校では松本蟻ヶ崎高と並ぶ実力を持つのが、2区の1901年創立の上田染谷丘高校。伝統かつこの進学率からいえば1区の長野西がやや長ずるが、古くから人物を輩出するという点では染谷丘や蟻ヶ崎が勝る。いずれも其学となった75年以降、しばらくは圧倒的に女子生徒が多かった。



庶民派経済ジャーナリスト 萩原博子

ちなみに染谷丘は筆者の亡母の母校でもあり、まるで石坂洋次郎の小説に出てくるような学園生活をいかにも楽し

げに聞かされたものだ。大正期には天折の少女詩人として今も愛される清水澄子を生み、「まんが日本昔ばなし」のエンディングテーマ「にんげんっていいな」を手がけた作詞家の山口あかりも出た。最近のOGでは経済ジャーナリストの萩原博子(55、明大文)が有名だろう。年金や家計のスペシャリストとして多忙ながら、今でも月に一度は小諸市に帰り、母校にキャリアアゲダンスの講演にも出向いている。

戦前より体育教育も盛んで、2人の五輪選手(戦前に活躍した槍投げの真保正子、東京五輪でメダルを期待されたが5位に終わり、後に自殺したハードルの依田柚子)を輩出。アニメ『シティーハンター』のヒロイン横村香役などのベテラン声優・伊倉一

## 野沢北高

さて、2区で上田高に次ぐ進学校、佐久市の野沢北高校。新党さきがけ 川島正一 結成メンバー



も元は上田の分校。創設は染谷丘と同じ1901年だ。一年生を歓迎する対面式には「牛さん・馬さん・豚骨さん」というキャラがなぜか上半身裸で登場する。こちらは元禄から続く酒蔵「桶倉酒蔵」として知られる井出家からの面々がおなじみか。自民党三木派の番頭格だ

「北国の春」作詞家 いではく  
「北国の春」の正一(70、慶大経)も、解散した党と命運をともにして政界を退いた、今日日珍しく深い政治家。孫六は信州から多く出た満蒙開拓団に関する著作も多い。

# 体育の伝統でハツラツと明るい 上田染谷丘 信州人らしい気骨とリベラリズム 野沢北

また、「井出」という姓は佐久一帯に多いが、『北国の春』の作詞家いではく68、早大商もOB。幼い頃に父を亡くし、母親が働き、長兄

の仕送りで学校も出たという。それが『北国』の3番の歌詞「兄貴も飲んでるだろうか」に反映されている。「近代文学」創刊メンバー

で、北欧文学研究の第一人者だったOB山室静は両親とも教育者だったが、教育関連の著作も多い、ノンフィクション作家の吉岡忍(61)も、父は

2月22日、笹山常務取締役おございます。ついに、還暦ですしくご指導ください



油井亀美也 宇宙飛行士候補の元自衛官

全日本中学校長会副会長まで務めた教師だった。時代劇の悪代官や政商を演じさせたらピカ一の俳優の田口計(77)は、吉岡の母方の叔父で高校の先輩でもある。トップの成績で東大文に進むも、在学中は反戦運動と芝居に夢中になり、卒業時はピリに近かったとか。マロン・ブランドらのアテレコでも知られる。

なお直近では、昨年3月JAXAの宇宙飛行士候補者に決定した元自衛官の油井亀美也(39、防衛大)、長野放送ア

ナからフリーに転影倫代(32)、立命社一日大松戸南中退る。御影は在校中、連の陸上所属。独特ヤーシに身を包んでい(ジャーナリ

